

小倉、初めての鈴鹿で2位表彰台！！ 地元の強敵を相手に速さを見せる。

S-FJ Dream Cup

10月7日(土)
～8日(日)
鈴鹿サーキット
5.807km



ル・ボーセモータースポーツが挑むカテゴリーのひとつ、スーパーFJの鈴鹿ドリームカップが、10月7日(土)・8日(日)に鈴鹿サーキット(三重県)にて開催され、小倉祥太が出場した。これまで、もてぎシリーズに参戦してきたが、4戦全てをポールトゥウィンでシリーズチャンピオンを獲得した小倉。他のサーキットでの経験値を上げるべく、今回はF1鈴鹿グランプリの前座に組み込まれたS-FJドリームカップにエントリー。鈴鹿はハイスピードでコーナーリングしていく高速のテクニカルコース、今までとはまた違うドライビングが求められる。また、エントリー台数も27台と今まで経験したことのない多さのうえ、大観衆の中で争う今大会で、鈴鹿を走り込んでいるライバルたちに引けを取らないレースが期待された。

予選

10月7日(土)
天候/曇り
コース状況/ウエット
～ドライ

このレースウィークの練習走行は金曜日の30分のみ。しかし、この日の鈴鹿はあいにくの雨模様。雨脚は昼過ぎから強くなり、S-FJのフリー走行も雨脚が強い中行われたが、30分の内に赤旗が二回掲示され、二回目の赤旗時にはそのままセッションが打ち切りとなってしまい、計測できたのは1周のみ。ほとんど走ることができずセッションを終えた。

土曜日は小雨となり、10時30分からの予選の直前には止んだが、全車ウエットタイヤを選択。26台の出走の中で、クリアを取れるよう小倉は先頭でコースイン。この予選も赤旗の繰り返しとなり、合計二回の赤旗が出たが、二回目の赤旗再開後の残り時間8分でライバル共々アタックしていく展開となった。路面が乾いていく中で、7周目に小倉は2分21秒842を記録し、もう一周アタックを試みたが、前車がスロウダウンしたためタイムロスしてしまい、このタイムがベストとなる。しかし、スリックタイヤに履き替えたライバルが21秒624を記録。小倉はトップにわずか0.2秒届かず、惜しくも2番手で予選を終えた。しかし、同じウエットタイヤの3番手とは2秒の差を築き、初めての鈴鹿で地元のライバルたちも多く出場する中、小倉は十分な速さを見せつけた。

TOYOTA

Racing Development
TRD

DENSO

豊田自動織機

TPR

NPR

SYNCRONATIC
byAW

富士電機

AISIN

OTICS

NSK

UMC

TDK

ITS
ITSUMI SEISAKU CO., LTD.

エスエスエー

MARUYASU

ばねの素郷

AIDO METAL

中興スプリング

橋本トヨヨ

トヨレンタリース橋本

TRD

茨城トヨタ

茨城トヨペット

江本鉄工

MARUSAN

icode

TAMACHI

PETRONAS
SYNTIUM

FFC

ODYSSEY

ThreeBond

BILION

シーシーアイ

SEV

Sakata Designers

TAKATA

TOYOMO

LANDS'END

RAVS

道の駅もてぎ

PRIMO

Rapport

SHARING ONE VISION

決勝

10月8日(日)
天候/晴れ
コース状況/ドライ

決勝は、朝から快晴となり予定通り10時から決勝を迎えた。大観衆が見守る中、メインストレートの最前列にマシンを並べ、8周先のゴールへ向け集中を高める。肝心のスタートで小倉は、ホイールスピンが多くオープニングラップで5番手となるが、2周目のデグナーでトップがスピンしたことにより4番手に上がり、続く130Rの進入で前車をインからパスし表彰台圏内の3番手まで返り咲く。3周目のスプーンでは、前を走る2台が接触し戦列を離れたため、小倉はトップに浮上。しかし、小倉は3周目にタイヤを痛めてしまい、ヘアピンとシケインでタイヤがロックしてしまうようになり、思うようなペースで走れず、2周目でスピンを喫したライバルが徐々に追い上げてくる。コースの前半は小倉が速く、差を開くが、ヘアピンから後半はそのライバルが速く、徐々に差を詰められて行く。そして6周目に、小倉は2番手に後退するが、残り2周で逆転を目指しテールツーンズで食らいつくも、あと一歩足りずチェッカーとなった。

初めての鈴鹿で2位表彰台を獲得し、予選を通して小倉は速さを見せた。次戦は、同じく鈴鹿での日本一決定戦。表彰台の頂点を目指す。



SHARING ONE VISION

チーム監督
坪松唯夫
Tadao Tsubomatsu
COMMENT

金曜日の練習走行は雨のなか赤旗の連続で1週の計測しか出来なかったが、路面が徐々に乾いていく難しいコンディションの予選で、同じウエットタイヤを履く3番手以降のドライバーに2秒の大差つけられたことは、小倉にとって大きな自信となったことだろう。今回、唯一の心配事と言えば鈴鹿特有の下り坂でのスタートだったが、出遅れても直ぐに落ち着きを取り戻し、大観衆の前で表彰台に立てたことは次に繋がる良い経験になったと思う。

Driver
小倉祥太
Shota Ogura
COMMENT

予選は、直前まで小雨が降っていて後半どんどん路面が良くなることが予想されたので、前半はタイヤをいたわりつつ、後半どれだけタイムを出せるかを狙っていました。2回の赤旗がありましたが、今回は集中力を切らさず、タイムを出すことだけ考えていたので1番手には一步届きませんでした。決勝に関しては、スタートはホイールスピンが多すぎて上手く前に進めず、抜かれてしまいました。また、その後ももっと抜かれないように出来たのではないかと反省しています。展開に助けられた面もありましたし、1番手に対して自分の速さが足りなかったと悔しく思います。甘くないとは思っていましたが、新しい環境やライバルと戦えて逆にモチベーションがあがりました。次回の日本一は勝てるように頑張ります。

スーパーFJ Dream Cup 鈴鹿 レース結果

順位	車番	ドライバー	車名	予選順位
1	2	岡本 大地		1
2	62	小倉祥太	ル・ボーセフォーミュラアカデミー-PFC	2
3	77	荒川 麟		6
4	88	八巻 涉		9
5	18	山田 遼		8
6	61	大田 格之進		13

TOYOTA

Racing Development
TRD

DENSO

豊田自動織機

TPR

NPR

SYNCROMATIC
by AWW

富士電機

AISIN

OTICS

NSK

UMC

TDK

Ars
ART SYSTEMS CO., LTD.

カースター

MARUYASU

ばねの素郷

AIDO METAL

中康スプリング

橋本トヨタ

トヨタレンタリース橋本

TRD

茨城トヨタ

茨城トヨペット

江本鉄工

MARUSAN

icode